GJ2-004301～、GJ3-004601～、GJ6-004101～、GJ7-009101～、GP2-011301、GP3-007301～、GP6-007801～、GP7-020301～

EyeSight（アイサイト）ver.2は自動運転／自動衝突回避システムではありません。EyeSight（アイサイト）ver.2だけに頼った運転は、絶対に行わないでください。周囲の状況に注意して安全にご使用ください。ご使用の前には必ず取扱説明書をお読みください。

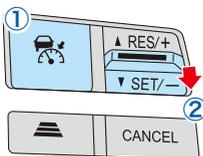
インプレッサ / XV EyeSight（アイサイト）ver.2 クイックユーザーガイド

EyeSight（アイサイト）ver.2はさまざまな機能によって運転者の判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。2台のCCDカメラでのステレオ画像処理技術を駆使し、前方道路環境を認識します。

全車速追従機能付クルーズコントロール

同一車線内に先行車がいる場合は、セット車速を上限として追従走行します。同一車線内に先行車がいない場合は、セットした車速で定速走行します。先行車の停止に続いて停止した場合は、停止後すぐにゆっくりと自動ブレーキが解除され、クリープ走行を開始します。必ずブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。※本機能は高速道路などの自動車専用道路でお使いください。

※追従走行のとき、[S] モードに連動して追従特性を切り替えます。詳細は取扱説明書をご覧ください。

●全車速追従機能付クルーズコントロールの開始と終了

・開始する ① （クルーズ）スイッチを押します。

（追従クルーズ表示）、（車間設定表示）、セット車速表示部に－－－km/hが表示されます。
セット可能状態になるとREADY（READY表示）が表示されます。

追従クルーズ表示
車間設定表示
READY表示
セット車速表示

② **SET/－**スイッチを押します。
全車速追従機能付クルーズコントロールがセットされます。SET（SET表示）と**セット車速**が表示されます。

・自車速が約40km/h以下のときにセットした場合、セット車速は自動的に40km/hに設定されます。
・約 30km/h 以下において、約 30m以内で追従走行していた先行車を認識しなくなったときは、ブザー（ピーッ）が鳴り、自動的に全車速追従機能付クルーズコントロールを解除します。

先行車がいる場合

先行車がいない場合

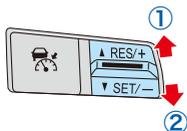
・終了する （クルーズ）スイッチを押します。

●一時解除

・**CANCEL**（キャンセル）スイッチを押します。
・ブレーキペダルを踏む。
いずれかの操作で全車速追従機能付クルーズコントロールが一時解除されます。

●一時解除からの復帰

RES/+スイッチを押します。
一時解除前のセット車速でセットされ、制御を開始します。

●セット車速の変更

①セット車速を上げる
走行中に**RES/+**スイッチを押します。
※追従走行中はセット車速を上げても先行車の速度以上に加速しませんが、先行車を認識しなくなると上げたセット車速まで加速します。セット車速はセット車速表示を確認しながら変更してください。

②セット車速を下げる
走行中に**SET/－**スイッチを押します。

※アクセル、ブレーキペダルでの加速／減速もできます。詳細は取扱説明書をご覧ください。

●車間距離の設定

スイッチを押すごとに車間距離が「長」→「中」→「短」→「長」… の順に切り替わります。

長　中　短

車間距離は車速に応じて変わります。
高速であるほど車間距離は長くなります。

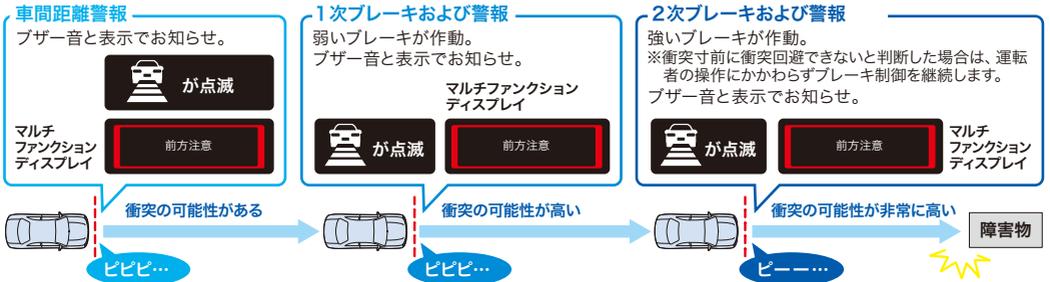
GJ2-004301～、GJ3-004601～、GJ6-004101～、GJ7-009101～、GP2-011301、GP3-007301～、GP6-007801～、GP7-020301～

EyeSight（アイサイト）ver.2は自動運転／自動衝突回避システムではありません。EyeSight（アイサイト）ver.2だけに頼った運転は、絶対に行わないでください。周囲の状況に注意して安全にご使用ください。ご使用の前には必ず取扱説明書をお読みください。

プリクラッシュブレーキ

※「プリクラッシュブレーキ」を OFF にすることができます。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

前方障害物に衝突する可能性がある場合、運転者への警報による衝突回避の支援を行います。それでも運転者の衝突回避操作がない場合、衝突直前に自動的に急ブレーキをかけ、衝突被害を軽減または衝突を回避します。

※プリクラッシュブレーキを日常の車両停止のためには絶対に使用しないでください。プリクラッシュブレーキはあらゆる状況で衝突を回避するものではありません。ブレーキの作動をプリクラッシュブレーキのみに頼っていると、衝突事故を起こす場合があります。

AT誤発進抑制制御

※「AT 誤発進抑制制御」を OFF にすることができます。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

セレクトレバーの位置の入れ間違いやペダルの踏み間違いなどによる誤った前進を抑制します。

この機能はセレクトレバーが D または M で作動します。

車線逸脱警報

※「車線逸脱警報」を OFF にすることができます。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

車線を逸脱しそうになる（走行車線から外れそうになる）と、ブザー音がなり、ハンドル表示と左右の車線表示が同時に点滅します。

車速が約 40 km/h 以上で作動します。

ふらつき警報

※「ふらつき警報」を OFF にすることができます。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

疲れやよそ見、ぼんやり運転、横風などによるふらつきを認識すると、ブザー音がなり、ハンドル表示が点滅、車線表示が左右交互に点滅します。

車速が約 50km/h 以上で作動します。

先行車発進お知らせ

※「先行車発進お知らせ機能」を OFF にすることができます。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

先行車が発進して、約3m以上進んでも自車が発進しないとき、ブザー音がなり、先行車表示が点滅します。

この機能はセレクトレバーが D、N または M で作動します。

定速クルーズコントロールへの切り替え

※定速クルーズコントロールについての詳細は取扱説明書をご覧ください。

クルーズメイン ON でクルーズコントロールをセットしていないとき、（車間設定）スイッチを2秒以上押すと、全車速追従機能付／定速クルーズコントロールが切り替わります。

（クルーズ）スイッチを押すと、初期状態では全車速追従機能付クルーズコントロールになります。

※どちらのクルーズコントロールが選択されているかメーター内表示およびマルチファンクションディスプレイで確認してください。

全車速追従機能付クルーズコントロール
車間設定表示あり

定速クルーズコントロール
車間設定表示なし

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター

発行 2012年9月 Printed in Japan NB
Publication No. F1142JJ-A